



4 月 号
平成 31 年 4 月 25 日

桜花爛漫

郷土を舞台に 夢に向かい ともに歩む学校

桜花爛漫・飛翔若鷹

ひとり歩きのできる子
～つながる力を育む～

検索 庄川まちづくり協議会

学校の教育目標を変えました！

校長 水口 悟

葎始めて生ず(穀雨 初候 あし はじめて しょうず)

水辺の葎が、芽を吹きはじめるころ。夏には背を伸ばし、秋には金色の穂が風になびきます。
(新暦では、およそ四月二十日～四月二十四日ごろ 日本の七十二候を楽しむより)

◇ さらなる ひとり歩きのできる子 の躍進をめざす！

昨年度、約半年間をかけて、中学校の脇田裕子校長先生と保小中一貫教育の充実を一層図るために、これまでの庄川小・中学校の学校の教育目標を見直し、一新いたしました。そのため、小中学校のめざす教育理念を共通とし、それぞれの発達段階に合った「めざす子ども像」考案いたしました。

幾度も脇田校長先生と案を練りましたが、なかなかピタリとくる目標ができず、どうしても一般的な目標となることに納得がいかなぬまま時間が流れましたが……。庄川らしさにこだわり抜いた結果、「桜花爛漫・飛翔若鷹」に決めました。

庄川保小中一貫教育 庄川学校の理念

桜花爛漫・飛翔若鷹

根

厳しい環境にも負けず、根を広げ、美しい花を咲かせる庄川桜のように、力強い翼と鋭い眼をもって大空を羽ばたく若鷹のように、深く広く根を張り、自分の花を咲かせ、社会に力強く羽ばたく庄川の子

めざす子どもの姿

ひとり歩きのできる子

ひとり歩きのできる姿とは、決して独りぼっちで歩くことではありません。自分のまわりの 人・物・事と主体的に貪欲につながり、自分を膨らませながら歩む姿です。

H30 保護者アンケートの結果 Q：お子さんは、ひとり歩きのできる子に成長していると思われますか？
A：よても成長している 11% 成長している 83% 無回答6%

◇ 新元号「令和」と庄川学校の理念

本日、元号を改める政令を閣議決定いたしました。新しい元号は、「令和（れいわ）」であります。これは、万葉集にある文言から引用したものであります。……悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然。こうした日本の国柄を、しっかりと次の時代に引き継いでいく。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本人でありたい、との願いを込め、「令和」に決定いたしました。(平成31年4月1日 内閣総理大臣談話)

◇ ひとり歩きのできる学校 として

新しく7名の先生方と新1年生13名とともにスタートした庄川小学校。着任式では、本校が大切にしているつながり発言を使い見事に自己紹介した新しい先生方。「ずっと前から、居るみたい！」。相変わらず楽しい。面白い。笑顔があり活気がある。冗談めいたネットワークの中にフットワークが軽い。4年生同様、最大派閥となった新1年生。個性豊かで、食が太い。給食をモリモリ食べる。

新元号と学校理念のもとに、ひとり歩きのできる学校がスタートをしました。保護者の皆様・地域の皆様方、夢を描き続けて今年も精一杯がんばります！どうぞ、宜しく願いいたします。